

こどもにすすめたい本 2022



『ぼかぼかぐ〜ん』
角野栄子／作 よしむらめぐ／絵
小学館

山梨県内の図書館員が、昨年1年間に出版された図書の中から
「こどもにすすめたい本」110冊を選びました。

山 梨 県 立 図 書 館
山 梨 県 公 共 図 書 館 協 会



幼児向け



『あかいてぶくろ』

林木林／文 岡田千晶／絵
小峰書店 ¥1,600(税別)

幼い女の子ちびちゃんの手を温め、冬遊びを手伝う赤い手袋たちが主役。ある日、ちびちゃんが片方の手袋を落としてしまい、左右の手袋は離ればなれに…。お互いの幸せを思う優しいいづかいが感じられる絵本。



『お月さんのシャーベット』

ペク・ヒナ／作 長谷川義史／訳
ブロンズ新社 ¥1,400(税別)

とある寝苦しい夏の夜、あまりの暑さになんとお月さんが溶け始めた!?ほっとするような優しい月の光の表現や、登場する動物たちの豊かな表情、細部まで作りこまれたミニチュア模型の部屋など、見どころが詰まった贅沢な一冊。



『おひさまわらった』

きくちちき／作
JULA出版局(フレーベル館／発売) ¥2,300(税別)

テントウムシが空に飛び立つ。青い風と散歩する女の子の周りで、色鮮やかに描かれた生き物が跳ね、花が踊る。全ての命がお日様の元で繋がって溶け合い、素晴らしい瞬間を讃え合う。美しく力強い版画と優しい言葉に、生きる勇気もらえる一冊。



『きょうものはらで』

エズラ・ジャック・キーツ／え 石津ちひろ／訳
好学社 ¥1,600(税別)

一匹の子亀が砂を掘り、二匹の魚の子が泳ぎ、三羽のツグミの雛が歌う…野原に住む生き物が登場する数え歌の絵本。躍動感あるコラージュで描かれた生き物と、詩人の石津さんが翻訳したリズムミカルな言葉がコラボし、読み聞かせにおすすめ。



『たべたのだーれだ?』

たむらしげる／さく
福音館書店 ¥1,000(税別)

「チーズを たべたの だーれだ?」チーズに穴が空き、奥のページからネズミがのぞく。誰が食べたのかな?とあてっこで遊び、「モグモグ」「ペロペロ」など食べる音を表したオノマトペも楽しめる、読み聞かせにぴったりの穴あき絵本。



『とっています』

市原淳／作
世界文化社 ¥1,100(税別)

お相撲さんが相撲を「とっています」。相撲をとりながら、バランスをとり、写真をとり、ピザをとり…相撲以外の他のものも「とっています」。はつきりとした色合いの絵と、「とっています」を繰り返す言葉遊びが楽しい絵本。



『もりはみている』

大竹英洋／文・写真
福音館書店 ¥900(税別)

しんと静まり返った森の中、こちらをじっと見つめる野生動物たちがいる。アカリスや、ゴジュウカラ、子熊の兄弟…。彼らは私たちに何を語りかけているのだろう。木々の揺れる音、動物たちの呼吸まで聞こえてきそうな写真絵本。



『わたしのかみがた』

樋勝朋巳／作
ブロンズ新社 ¥1,300(税別)

みんなはどんな髪型?髪の色は何色?長さはどの位?次はどんな髪型にしたい?あのね、私の髪型にはヒミツがあるの。教えてあげるね。
温かみのある絵と色使いで、髪型に隠された優しい秘密が描かれる。ぽかぽかと温かくなる一冊。

その他のおすすめの本



『いただきまーす』

accototo／さく 大日本図書 ¥1,300(税別)

『おじさんのぼうしはどこいった?』

ジョアン・ノドセット／作 フリッツ・シーベル／絵 やすだふゆこ／訳 出版ワークス ¥1,600(税別)

『おもち』

彦坂有紀／さく もりといずみ／さく 福音館書店 ¥900(税別)

『くまちゃんがちいさくなっちゃった』

トム・エリヤン／文 ジェーン・マッセイ／絵 ながわちひろ／訳 光村教育図書 ¥1,400(税別)

『ゴリラさんは』

北村裕花／作 講談社 ¥1,400(税別)

『たいそうするよ』

高島純／作・装丁 光村教育図書 ¥1,100(税別)

『チーターじまんのてんてんは』

みやけゆま／作 BL出版 ¥1,300(税別)

『ねたふりゆうちゃん』

阿部結／著 白泉社 ¥1,200(税別)

『ひよこはにげます』

五味太郎／作 福音館書店 ¥900(税別)

『ぽかぽかぐ〜ん』

角野栄子／作 よしむらめぐ／絵 小学館 ¥1,100(税別)

『まよなかのトイレ』

まるやまあやこ／さく 福音館書店 ¥900(税別)

『よるがやってくる』

下田昌克／作 こぐま社 ¥1,200(税別)



小学生〔低学年〕向け



『あしたもオカピ』

齊藤倫／作 fancomi／絵
偕成社 ¥1,200(税別)

動物の願いが何でも叶う「よつば月」の夜、動物園中の檻の鍵を開けることを願ったオカピは、他の動物たちの願い事を尋ねて回る。様々な願い事を知ったオカピは次に何を願うのか。オカピと一緒に楽しい夜を過ごしてみては?



『かんじるえ』

大谷陽一郎／さく
福音館書店 ¥1,200(税別)

表紙の絵を見ると違和感を感じるはず。なんと、表現している物の漢字が集まり、一つの絵に! 例えば、青空は「空」という字で埋め尽くされている。漢字という文字を持つデザインと、漢字の意味が集合した面白さを“感じる”本。



『すいめん』

高久至／写真・文
アリス館 ¥1,400(税別)

水中写真家が一瞬の景色を撮影した、美しい海の写真が幻想的な絵本。水面に集う魚など生き物たちの生態系が描かれ、海の世界に入ってしまったように感じられる。



『そらをとびたい』

山本直洋／写真 ちかぞう／文
小学館 ¥1,500(税別)

モーターパラグライダーを使い、空を飛ぶ夢を叶えた著者が大地を撮影。曲がりくねる川や道、雪に覆われた富士山の美しい姿に息のみ、風や雲や光の中で地球と一体化し心地よい解放感に包まれる。空はいつもそこにあると伝える写真絵本。



『地球のことをおしえてあげる』

ソフィー・ブラッコール／作・絵 横山和江／訳
鈴木出版 ¥1,600(税別)

宇宙から来る生き物に、地球がどんな星か一人の少年が教える、という設定の絵本。海と陸に住む生き物のことや、見た目や年齢、衣食住、職業、コミュニケーションなど多様な人間が暮らす様子を、やさしい言葉とイラストで解説している。



『ヘビと船長』

ふしみみさを／文 ポール・コックス／絵
BL出版 ¥1,600(税別)

船を失った船乗りの元に現れた一匹のヘビ。ヘビの助言通りに行動すると、船乗りの周りで次々と不思議な出来事が起こっていく。ヘビの正体とは…? フランスのバスク地方に伝わる昔話を絵本にした一冊。味わい深いイラストが印象的。



『ぼくがっこう』

谷川俊太郎／文 はたこうしろう／絵
アリス館 ¥1,400(税別)

学校って、どんなところ? 楽しい場所、けんかする友達がいる場所、何だか緊張して苦手な場所、友達と笑い転げられる場所…。いろいろ感じてほしい。学校は変わらずそこにあって、君にエールを送ってくれる。



『まっくら』

高崎卓馬／作 黒井健／絵
講談社 ¥1,600(税別)

「こころにうかんだことをかいてみましょう」と始まった授業。ある男の子がみんなの心配をよそに、何枚も何枚も画用紙を真っ黒に塗り潰す。柔らかい真っ黒の画用紙を並べると、現れたものは…。創造力の素晴らしさを描く素敵な絵本。

その他のおすすめの本



『いぬのせんせい』

ジェーン・グドール／作 ジュリー・リッティ／絵 ふしみみさを／訳 グランまま社 ¥1,500(税別)

『おこめをつくるのうふのふさん』

室井さと子／作 新日本出版社 ¥1,400(税別)

『学校が大好きアクバルくん』

長倉洋海／著 アリス館 ¥1,400(税別)

『きみのなまえ』

あんずゆき／作 かなざわまゆこ／絵 佼成出版社 ¥1,200(税別)

『くしゃみおじさん』

オルガ・カブラル／作 小宮由／訳 山村浩二／絵 岩波書店 ¥1,300(税別)

『くもとりの山のイノシシびょういん』

かこさとし／文・絵 なかじまかめい／絵 福音館書店 ¥1,100(税別)

『しんゆうだけどだいきらい』

石山さやか／作・絵 岩崎書店 ¥1,600(税別)

『水族館』

ほりかわあやこ／さく 福音館書店 ¥1,600(税別)

『すきなことにがてなこと』

新井洋行／作 巖まいこ／絵 くもん出版 ¥1,400(税別)

『タンポポのたねどうしてとんでいくの?』

ごとうまきこ／絵 かんちくたかこ／文 多田多恵子／監修 文一総合出版 ¥1,600(税別)

『ナメクジはカタツムリだった?』

武田晋一／写真・文 岩崎書店 ¥1,500(税別)

『夜をあるく』

マリール・ドルリアン／作 よしいかずみ／訳 BL出版 ¥1,600(税別)



小学生[中学年]向け



『ヴォドニークの水の館』

まきあつこ/文 降矢なな/絵
BL出版 ¥1,600(税別)

貧しさを悲観し川に身投げする直前、少女は水の館の主ヴォドニークに連れ去られ、彼に仕えることに。広間の壺の中に意外な物が隠されていると知った少女は…。幻想的な水の底を舞台に、たくましく立ち上がる少女の姿を描いたチェコの昔話。



『火星は…』

スザンヌ・スレード/文 NASA/写真 千葉茂樹/訳
三河内岳/監修 あすなろ書房 ¥1,800(税別)

人間の目には見えない波長の色を、人間の目で見えるように写すことの出来る最新式の高性能カメラで、撮影した火星の姿は迫力満点! ガスがぶくぶく吹き上がる姿や、霜と氷が模様を描く姿など、火星の多様な姿を知る写真絵本。



『くじらの子』

石川梵/写真と文 宮本麗/写真
少年写真新聞社 ¥1,800(税別)

ガスや水道がなく、作物も育たないインドネシアの小さな村。約1,500人の命をつなぐため、村人は今日もモリを手に、命がけで巨大なクジラへ飛びかかる。クジラと目指す少年を主人公に、大自然の中で生きる人々の姿をとらえた写真絵本。



『サイコーの通知表』

工藤純子/著
講談社 ¥1,400(税別)

通知表が嫌いな朝陽、大河、叶希の三人は、朝陽の父のふとした発言をきっかけに、担任の通知表を作ることに。いろいろな問題に直面しながらも「サイコー」の通知表作りが進む。通知表のあり方やとらえ方を考えさせられる一冊。



『捨てないパン屋の挑戦』

井出留美/著
あかね書房 ¥1,300(税別)

パン職人の田村さんには、天然酵母とまき窯を使用したパンを作るという夢がある。しかし、売れ残ったパンの大量廃棄や長時間労働など、夢の途中にはいくつもの課題があり…。人にも環境にも優しい「捨てないパン屋」への挑戦物語。



『チョコレートタッチ』

パトリック・スキン・キャリング/作 佐藤淑子/訳
伊津野果地/絵 文研出版 ¥1,300(税別)

ジョンはお菓子が大好きな男の子で、中でもチョコレートが特にお気に入り。ある日、不思議な店で買ったチョコレートを食べると、奇妙なことが起こり始め、大変なこと! ハラハラする展開で、物語に引き込まれること間違いなし。



『富士山のまりも』

亀田良成/文 齊藤俊行/絵
福音館書店 ¥1,300(税別)

著者が子どもの頃、毎年訪れた山中湖で採取し、小学校5年生の自由研究で観察したまりも。そのまりもが著者宅でなんと50年以上生き続け、自由研究の記録も残っていた! 山中湖で絶滅の危機にある丸いまりもをめぐる驚きと感動の物語。



『ぼくは川のように話す』

ジョーダン・スコット/文 シドニー・スミス/絵 原田勝/訳
偕成社 ¥1,600(税別)

吃音のある僕の周りには言葉の音があふれている。しかし、音は僕の口の中でつかえ、クラスメートのように上手く話せない。僕を救ったのは、お父さんが川を指さして言った言葉だ。迫力のある絵と少年の切実な思いが胸に響く絵本。

その他のおすすめの本



『会いたくて会いたくて』

室井滋/作 長谷川義史/絵 小学館 ¥1,200(税別)

『おすしやさんにいらっしゃい!』

おかだだいすけ/文 遠藤宏/写真 岩崎書店 ¥1,600(税別)

『すずりくん』

青柳貴史/作 中川学/絵 あかね書房 ¥1,300(税別)

『すてきなタータンチェック』

奥田実紀/文 穂積和夫/絵 福音館書店 ¥1,300(税別)

『体育がある』

村中李衣/作 長野ヒデ子/絵 文研出版 ¥1,300(税別)

『地球がうみだす土のはなし』

大西健夫、龍澤彩/文 西山竜平/絵 福音館書店 ¥1,300(税別)

『どっちでもいい子』

かさいまり/作 おとないちあき/絵 岩崎書店 ¥1,200(税別)

『トムと3時の小人』

たかどのほうこ/作 平澤朋子/絵 ポプラ社 ¥1,380(税別)

『止めなくちゃ!気候変動』

ニール・レイトン/作 絵 いわじょうよしひと/訳 向井人史、大山剛弘/日本語版監修 ひさかたチャイルド ¥1,600(税別)

『二平方メートルの世界で』

前田海音/文 はたこうしろう/絵 小学館 ¥1,500(税別)

『ヒグマの旅』

二神慎之介/写真・文 文一総合出版 ¥1,800(税別)

『みんなとおなじくできないよ』

湯浅正太/作 石井聖岳/絵 日本図書センター ¥1,600(税別)



小学生[高学年]向け



『秋』

かこさとし／文・絵
講談社 ¥1,600(税別)

たくさんの絵本を生み出したかこさんが、高校生の時の自らの体験を描く。「病院にいても、戦争のさなかでも、秋はちゃんとやってきます。」戦争中の秋のことを忘れず平和であってほしいと願う、かこさんの思いを伝える一冊。



『風の神送れよ』

熊谷千世子／作 くまおり純／絵
小峰書店 ¥1,500(税別)

長野県南部、神坂田の宇野原地区の「コト八日」は、疫病を鎮めるために伝承されてきた行事。取り仕切るのは小学校3年生から中学校1年生の男女。様々な悩みを抱える子どもたちが、行事に参加する中で友情を育み成長していく姿を描く。



『黄色い夏の日』

高樓方子／著 木村彩子／画
福音館書店 ¥1,800(税別)

以前から気になっていた洋館を描く事にした中学生の景介は、洋館に住む老婦人に招かれ中に入る。そこで、可憐な少女ゆりあと出会い、心奪われていく。不思議な洋館で幻と現実の狭間の世界に溺れていく物語。



『ゴースト・ボーイズ ~ぼくが十二歳で死んだわけ~』

ジュエル・パーカー・ローズ／著 武富博子／訳
評論社 ¥1,500(税別)

12歳のジェロームは警官に撃たれて死んだ。物語を読み進めていくと、徐々に彼の死の真相が明らかになる。同時に、誰もが無意識のうちに持ちうる偏見や差別意識に気づかされる。主人公と同世代の今だからこそ読んで欲しい。



『日本庭園を楽しむ絵本』

大野八生／作
あすなろ書房 ¥1,400(税別)

日本庭園のことが、ほのぼのとしたタッチで細かく丁寧に描かれている。庭の知識だけではなく、日本人の自然や生活を大切に思う「心」、古より続く深い想いも伝わってくる。四季折々に親子で読んで、語りあいたい絵本。



『登り続ける、ということ。』

野口健／著
学研プラス ¥1,400(税別)

世の中には明るい部分と暗い部分がある。アルピニスト、野口健さんは暗い部分に焦点を当て、ヒマラヤでの学校設立、熊本地震の被災地支援、富士山清掃など前向きに取り組む。その活動内容と、続ける大切さや難しさが綴られている一冊。



『ぼくの弱虫をなおすには』

K・L・ゴーング／作 久保陽子／訳 早川世詩男／絵
徳間書店 ¥1,600(税別)

上級生からのいじめを恐れ、進級を拒否するゲイブリエルを強くしようと、「こわいものリスト」を作り一つずつ減らす作戦を、親友フリータが提案。クモ、地下室、フリータの兄、幽霊、上級生、親友への人種差別…怖いものは克服できるか？



『もしも動物と話せたら?』

ジェイン・ピッテル／文 ケルシー・バゼル／絵 松藤留美子／訳
今福道夫／監修 化学同人 ¥2,000(税別)

動物も人間と同じようにコミュニケーションをとっている。食料入手のためのダンス! 危険回避のために死んだふり! 生きるために必要なそれらのユニークなコミュニケーション方法を、個性的なイラストで楽しく解説した本。

その他のおすすめの本



『命の境界線』

今西乃子／著 浜田一男／写真 合同出版 ¥1,500(税別)

『崖の下の魔法使い』

吉野万理子／作 宮尾和孝／絵 学研プラス ¥1,400(税別)

『聞かせて、おじいちゃん』

横田明子／著 山田朗／監修 国社社 ¥1,500(税別)

『こどもサピエンス史』

ベント=エリック・エングホルム／著 ヨンナ・ビヨルシェーナ／絵 久山葉子／訳 NHK出版 ¥1,800(税別)

『災害伝承の大研究』

佐藤翔輔／監修 PHP研究所 ¥3,200(税別)

『サステナブル・ビーチ』

小手鞠るい／作 カシワイ／絵 さ・えら書房 ¥1,400(税別)

『真実を発見!科学捜査』

石澤不二雄／監修 誠文堂新光社 ¥2,500(税別)

『天の台所』

落合由佳／著 講談社 ¥1,400(税別)

『ぼくらのスクープ』

赤羽じゅんこ／著 講談社 ¥1,400(税別)

『屋根に上る』

かみやとしこ／作 かわいちはろ／絵 学研プラス ¥1,400(税別)

『わたしのあのこのわたし』

岩瀬成子／著 PHP研究所 ¥1,400(税別)

『わたしの気になるあの子』

朝比奈蓉子／作 水元さきの／絵 ポプラ社 ¥1,400(税別)



中学生・高校生向け



『いつかあなたをわすれても』

桜木紫乃／文 オザワミカ／絵
集英社 ¥1,700(税別)

家族の一生は、重なりながら続く道のり。守ってもらう子が自分を守る大人へ成長し、年老いた親の記憶からなくなったとしても、なかったことには決してならない。覚悟と慈愛を持って、別れの日まで生きることの大切さを説く物語である。



『WE HAVE A DREAM ~201カ国202人の夢×SDGs~』

WORLD DREAM PROJECT／編
いろは出版 ¥2,600(税別)

不確実で混沌とした世界を前にして、夢を語ることはむなしい行為なのだろうか?この本では、世界中の若者達が、困難な状況をなんとか変革したいと大きな夢を語っている。手に取ればさっと、あなたの背中を押す希望の書となるはずだ。



『境界のポラリス』

中島空／著
講談社 ¥1,400(税別)

高校1年生の恵子は、中国生まれで5歳の時に母に連れられ日本に来た。自分が何者なのか悩んでいる時、外国人が日本語を学ぶ「青葉自主夜間中学」に出会う。そこで日本語を教えるようになり、自分自身と向き合い成長していく。



『クジラの骨と僕らの未来』

中村玄／著
理論社 ¥1,300(税別)

ゲームやアイドルに興味を持たず、トカゲを熱心に飼育して同級生にからかわれる少年だった著者は、いかにしてクジラの研究者となったのか。自分の好きなものを信じて追いつけることで、未知の世界を開くことができると教えてくれる一冊。



『31cm』

Japan Hair Donation & Charity／監修
KuLaScip ¥2,000(税別)

タイトルの「31cm」は、切った髪を寄付(ドネーション)できる長さを指す。髪に悩みを抱える子どもたちにウィッグを提供するヘアドネーション。もらう人、渡す人、双方をつなぐ人、それぞれの思いと活動への理解が深まる一冊。



『詩人になりたいわたしX』

エリザベス・アセヴェド／作 田中亜希子／訳
小学館 ¥1,600(税別)

シオマラは誰にも言えない思い…不仲の親、双子の兄との違い、学校生活、親に秘密のデート…をノートに書く。ある時、勇気を出してポエトリー部に参加し、自作の詩を発表すると世界が変わった! 高校生の心の声を詩の形式で描いた作品。



『そらのことばが降ってくる ~保健室の俳句会~』

高柳克弘／作 あやのあゆ／絵
ポプラ社 ¥1,400(税別)

保健室登校のソラが保健室へ行くと、いつもと様子が違う。そこでは同級生のハセオがにぎやかに俳句で遊んでいた。次第にソラも俳句に真剣に向き合うことに。言葉で傷ついた経験を持つ少年たちが、俳句を通してつながりを強めていく。



『チバニアン誕生 ~方位磁針のN極が南をさす時代へ~』

岡田誠／著
ポプラ社 ¥1,500(税別)

千葉県に地層に残る約77万年前の地磁気逆転の痕跡が根拠となり、2020年、地球の時代(年代)としてチバニアンが誕生! 国際レースに挑んだチーム代表の地質学者が、地磁気の逆転や地層の測定技術の解説を交え、チバニアンがどんな時代か紹介。

その他のおすすめの本



『赤い糸でむすばれた姉妹』

キャロル・アントワネット・ピーコック／作 日当陽子／訳 野田あい／絵 フレーベル館 ¥1,400(税別)

『学校では教えてくれない自分を休ませる方法』

井上祐紀／著 KADOKAWA ¥1,300(税別)

『イラストで学ぶジェンダーのはなし』

アイリス・ゴットリーブ／イラスト・文 野中モモ／訳 フィルムアート社 ¥2,000(税別)

『自分のミライの見つけ方』

児美川孝一郎／著 旬報社 ¥1,400(税別)

『海をわたった母子手帳』

中村安秀／著 旬報社 ¥1,600(税別)

『世界一やさしい依存症入門』

松本俊彦／著 河出書房新社 ¥1,420(税別)

『親の期待に応えなくていい』

鴻上尚史／著 小学館 ¥880(税別)



『なんで洞窟に壁画を描いたの?』

五十嵐ジャンヌ／著 中島梨絵／画
新泉社 ¥2,000(税別)

中学生の理乃は、祖父と訪れたラスコー展をきっかけに洞窟壁画の魅力に引き込まれる。飽くなき探究心から、ついに理乃は本物の洞窟壁画を巡るため、フランスへ出掛けることに…。興味を持ったことに正面から向き合う姿を描いた一冊。



『はじめてのニュース・リテラシー』

白戸圭一／著
筑摩書房 ¥840(税別)

SNSなどで誰もが簡単に情報発信者になり得る現代。新聞社で各国の特派員などをしてきた著者が、これから社会に出る若者に、溢れる情報の中から捏造や偏向を見極める力をつけるための方法を教えてくれる本。



『武器ではなく命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方』

宮田律／著
平凡社 ¥1,400(税別)

戦争と干ばつの影響により荒廃したアフガニスタンの地で、長年復興支援に尽力した中村哲医師。彼の遺した数々の功績と、活動に込められた平和への願いが綴られている。平和のため私たちに何が出来るとのか、一歩を踏み出す勇気となる一冊。



『平安男子の元気な生活』

川村裕子／著
岩波書店 ¥880(税別)

平安時代から浮かぶイメージは、ゆったり、優雅…いえいえ意外にも現代と共通点がある!?趣味に仕事に、恋にもアクティブな平安男子。彼らの姿から、平安時代をのぞいてみよう。あわせて『平安女子の楽しい生活』も読んでほしい。



『ミシシッピ冒険記』

ダヴィデ・モロジノット／著 中村智子／訳
岩崎書店 ¥1,700(税別)

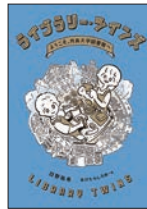
20世紀初頭、ミシシッピ川の河口地帯に住む4人の少年少女が主人公。偶然手に入れた3ドルで憧れのピストルを注文したはずが、届いたのは壊れた懐中時計。しかし時計には驚くべき秘密が隠されていた。スリルとミステリー満載の友情物語。



『見た目が気になる』

河出書房新社／編 青木美沙子／他著
河出書房新社 ¥1,420(税別)

「見た目」をテーマに26人の芸能人、モデル、作家などの著名人が、顔や体型、服装などについて語る。社会学者、鳥類学者の視点から書かれた話も新鮮で面白い。自分や他人の見た目が気になる人に、ぜひ読んでほしい。



『ライブラリー・ツインズ』

日野祐希／著 あけたらしろめ／絵
アリス館 ¥1,400(税別)

中学生の菜織は高校への内部進学を逃し、救済措置で大学図書館のイベントボランティアをすることに。サポート役の双子の健史と時にぶつかり合いながらも、イベント成功のために奮闘する成長ストーリー。頑張る二人を応援したくなる一冊。



『ワラグル』

浜口倫太郎／著
小学館 ¥1,800(税別)

ワラグル…それは、笑いに狂うこと。ある者は漫才コンテストで日本一を目指し、ある者は放送作家を目指す。そして、また、ある者は愛する人の夢の実現を目指す。全力で戦い続けるワラグル達の熱い魂を感じる!



『零から0へ』

まはら三桃／著 ポプラ社 ¥1,600(税別)

『ボードレス・ケアラー』

山本悦子／著 竹浪音羽／画 理論社 ¥1,400(税別)

『なぜ私たちは理系を選んだのか』

樹太一／著 岩波書店 ¥1,450(税別)

『本当の「心の強さ」ってなんだろう?』

齋藤孝／著 誠文堂新光社 ¥1,300(税別)

『「ハーフ」ってなんだろう?』

下地ローレンス吉孝／著 平凡社 ¥1,600(税別)

『みつばちと少年』

村上しいこ／著 高山裕子／絵 講談社 ¥1,400(税別)

『文豪中学生日記』

小手鞠るい／著 あすなろ書房 ¥1,400(税別)

4月23日は「子ども読書の日」



こどもにすすめたい本 2022

令和4年3月31日

編集 山梨県立図書館 サービス課

山梨県公共図書館協会「こどもにすすめたい本」編集委員会

発行 山梨県立図書館 山梨県公共図書館協会

〒400-0024 山梨県甲府市北口2-8-1

TEL 055-255-1040 FAX 055-255-1042

URL <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

Eメール kodomo@lib.pref.yamanashi.jp

- * 当館ホームページ上からもこの冊子を見ることができます。
- * 本書掲載の記事、イラスト、写真等の無断転載を禁じます。
- * 本冊子は、教育機関(小学校、中学校、高校、特別支援学校)におけるプリントアウト、コピー、無料配布ができます。
変更・切除などをご遠慮ください。



山梨県立図書館HP

